



## 平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年5月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 情報企画

コード番号 3712 URL <http://www.iyohokikaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松岡 仁史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 松岡 勇佑

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日

TEL 06-6265-8530

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

平成28年6月6日

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第2四半期の業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	1,438	17.7	480	32.5	480	41.1	317	49.3
27年9月期第2四半期	1,222	23.6	362	21.2	340	13.6	212	18.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	94.66	—
27年9月期第2四半期	52.71	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年9月期第2四半期	3,286		2,458		74.8
27年9月期	3,228		2,208		68.4

(参考)自己資本 28年9月期第2四半期 2,458百万円 27年9月期 2,208百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	18.00	—	20.00	38.00
28年9月期	—	25.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	6.8	700	7.8	700	11.5	450	14.4	134.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期2Q	4,090,000 株	27年9月期	4,090,000 株
28年9月期2Q	740,074 株	27年9月期	740,074 株
28年9月期2Q	3,349,926 株	27年9月期2Q	4,030,695 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあつたての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（平成27年10月1日から平成28年3月31日の6ヶ月間）におけるわが国経済については、中国経済の悪化や原油安などから、為替は急激な円高へ転換し、株価も年明けに大きく下落し以来乱高下しており金融市場は不安定な状況となっております。また生産や個人消費は依然緩やかな回復基調が続いていると見られるものの、当社の主要な販売先である金融機関におきましては、マイナス金利の導入により国内経済の先行きがやや不透明で設備投資に対する意欲は若干弱含んでいると見られます。

しかしながらこのような状況下にあつて、積極的な営業活動を展開した結果、「システム事業」につきましては、当第2四半期累計期間の売上高は、システム開発に係わる「システムインテグレーション部門」が前年同期比増収を達成することができました。また、システムのメンテナンスを行う「システムサポート部門」も前年同期比増収となりました。営業利益は、「システムインテグレーション部門」における大型案件開発に伴い、デジタル地図等の材料費増加、労務費や外注費の増加など製造原価の増加はあったものの、前年同期比増益となりました。

「不動産賃貸事業」につきましては、賃貸収入の売上高は前年同期比増収となり、営業利益も前年同期比増益となっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,438,628千円（前年同期比17.7%増）、営業利益は480,262千円（同32.5%増）、経常利益は480,571千円（同41.1%増）、四半期純利益は317,116千円（同49.3%増）と前年同期比増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①システム事業

##### 「システムインテグレーション部門」

主要なシステムである「担保不動産評価管理システム」は大手金融機関からの大型案件による売上高の増加が大きく、「決算書リーディングシステム」や「自己査定支援システム」、「貸倒実績率算定システム」も地方銀行や信用金庫中心に前年同期比増収となりました。また「融資稟議支援システム」も新規受注により売上高増に貢献しました。

以上の結果、システムインテグレーション部門の売上高は、782,378千円（前年同期比25.0%増）、セグメント内の売上高構成比は56.5%となりました。

##### 「システムサポート部門」

システムの新規導入効果が大きくメンテナンスの売上高は前年同期比増収となり、システムサポート部門の売上高は601,469千円（前年同期比10.4%増）、売上高構成比は43.5%となりました。

以上の結果、システム事業の売上高は1,383,848千円（前年同期比18.2%増）、セグメント利益は457,386千円（同28.6%増）となりました。

#### ②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、賃貸マンション1棟、立体駐車場1棟、賃貸オフィス1棟及び賃貸店舗1件の計4物件となり、当第2四半期の売上高は、賃貸収入54,780千円（前年同期比5.9%増）、セグメント利益は22,875千円（前年同期比16,158千円増）となりました。平成26年12月に購入した賃貸用不動産の増収効果と一時的経費負担が解消されたことにより大幅増益となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末の資産につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ80,623千円増加し、1,682,162千円となりました。これは主に現金及び預金の増加と売掛金並びに仕掛品の減少によるものです。固定資産は前事業年度末に比べ22,634千円減少し、1,604,173千円となりました。これは主に減価償却費の計上によるものです。この結果、資産合計は前事業年度末に比べ57,989千円増加し、3,286,336千円となりました。

##### (負債)

負債につきましては、前事業年度末に比べ192,129千円減少し、827,799千円となりました。これは主に前受収益並びに買掛金の減少によるものです。

(純資産)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ250,118千円増加し、2,458,536千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ136,921千円増加し、1,160,121千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は210,981千円（前年同期比7.0%減）となりました。これは主に税引前四半期純利益480,571千円、減価償却費26,606千円の計上並びにたな卸資産の減少34,249千円により資金が増加した一方で、前受収益の減少162,599千円、法人税等の支払額167,852千円による資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は7,016千円（前年同期比98.1%減）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出4,716千円及び無形固定資産の取得による支出2,900千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は67,042千円（前年同期比91.5%減）となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済は、中国を中心とした海外経済の悪化、円高や不安定な株式相場など景気の悪化が懸念されますが、消費や設備投資などは当面堅調に推移すると考えられます。

このような状況の中、当社といたしましては、主要顧客である金融機関のニーズを捉えて新規案件を掘り起こし、受注に結び付けるきめ細かい営業を行っていく考えです。

平成28年9月期におきましては、売上高2,500,000千円（前年同期比6.8%増）、営業利益700,000千円（同7.8%増）、経常利益700,000千円（同11.5%増）、当期純利益450,000千円（同14.4%増）と予想しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,023,200	1,160,121
売掛金	475,907	451,839
仕掛品	51,342	17,093
繰延税金資産	36,616	33,423
未収収益	3,538	8,957
その他	10,934	10,727
流動資産合計	1,601,539	1,682,162
固定資産		
有形固定資産		
建物	788,040	788,040
減価償却累計額	△107,357	△123,606
建物(純額)	680,682	664,434
構築物	4,205	4,205
減価償却累計額	△1,519	△1,764
構築物(純額)	2,686	2,441
機械及び装置	75,054	75,054
減価償却累計額	△44,443	△49,540
機械及び装置(純額)	30,611	25,514
工具、器具及び備品	60,655	61,721
減価償却累計額	△54,990	△55,195
工具、器具及び備品(純額)	5,665	6,526
土地	807,318	807,318
有形固定資産合計	1,526,964	1,506,235
無形固定資産		
ソフトウェア	13,341	13,085
その他	1,116	1,116
無形固定資産合計	14,457	14,201
投資その他の資産		
関係会社株式	10,000	10,000
繰延税金資産	8,786	7,737
会員権	20,650	20,650
差入保証金	44,399	44,399
その他	1,550	950
投資その他の資産合計	85,386	83,736
固定資産合計	1,626,808	1,604,173
資産合計	3,228,347	3,286,336

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	66,130	52,642
未払金	76,497	73,114
未払消費税等	41,303	33,817
未払法人税等	171,185	165,582
前受収益	297,197	134,598
賞与引当金	64,845	65,354
製品保証引当金	8,075	657
その他	9,336	13,627
流動負債合計	734,571	539,393
固定負債		
役員退職慰労引当金	233,154	237,390
長期預り保証金	52,203	51,015
固定負債合計	285,357	288,405
負債合計	1,019,929	827,799
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	326,625	326,625
資本剰余金		
資本準備金	365,175	365,175
資本剰余金合計	365,175	365,175
利益剰余金		
利益準備金	1,816	1,816
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,278,751	2,528,870
利益剰余金合計	2,280,567	2,530,686
自己株式	△763,950	△763,950
株主資本合計	2,208,417	2,458,536
純資産合計	2,208,417	2,458,536
負債純資産合計	3,228,347	3,286,336

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	1,222,522	1,438,628
売上原価	600,865	682,173
売上総利益	621,656	756,454
販売費及び一般管理費	259,206	276,192
営業利益	362,449	480,262
営業外収益		
受取利息	272	192
未払配当金除斥益	91	100
その他	—	16
営業外収益合計	364	309
営業外費用		
自己株式取得費用	22,105	—
営業外費用合計	22,105	—
経常利益	340,708	480,571
税引前四半期純利益	340,708	480,571
法人税、住民税及び事業税	129,655	159,212
法人税等調整額	△1,387	4,242
法人税等合計	128,268	163,454
四半期純利益	212,439	317,116



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	340,708	480,571
減価償却費	28,355	26,606
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,541	508
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△1,710	△7,417
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,073	4,236
受注損失引当金の増減額(△は減少)	254	—
受取利息及び受取配当金	△272	△192
自己株式取得費用	22,105	—
売上債権の増減額(△は増加)	40,192	24,068
たな卸資産の増減額(△は増加)	27,725	34,249
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△4,026	△5,212
仕入債務の増減額(△は減少)	97,463	△13,488
未払金の増減額(△は減少)	3,328	△1,343
未払消費税等の増減額(△は減少)	△56,757	△7,486
前受収益の増減額(△は減少)	△172,150	△162,599
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△764	7,327
その他の固定負債の増減額(△は減少)	—	△1,188
小計	336,066	378,641
利息及び配当金の受取額	272	192
法人税等の支払額	△109,566	△167,852
営業活動によるキャッシュ・フロー	226,771	210,981
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△357,491	△4,716
無形固定資産の取得による支出	△5,622	△2,900
従業員に対する貸付金の回収による収入	—	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△363,114	△7,016
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△730,505	—
配当金の支払額	△60,665	△67,042
財務活動によるキャッシュ・フロー	△791,171	△67,042
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△927,514	136,921
現金及び現金同等物の期首残高	1,773,511	1,023,200
現金及び現金同等物の四半期末残高	845,997	1,160,121

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期累計期間(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,170,814	51,707	1,222,522
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,170,814	51,707	1,222,522
セグメント利益	355,733	6,716	362,449

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

## II 当第2四半期累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,383,848	54,780	1,438,628
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,383,848	54,780	1,438,628
セグメント利益	457,386	22,875	480,262

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。